

資料4

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成25年5月31日

北海道運輸局

番号	協議会名 (又は主な構成員)	事業名	補助対象事業者等	事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等及び地方航空局に おける二次評価結果	備考
					事業実施の 適切性	目標・効果達 成状況	実施した事業の今後の改善点 (調査事業においては計画策定に 向けた方針)	評価結果	
27	本別町地域公共交通 会議	陸上交通に係る 地域公共交通確 保維持事業 (地域内フィー ダー系統)	① 本別町 太陽の丘循環バス南 回り	町立病院～本別道の 駅～町立病院	A	B	市街地南地区（南2丁 目）に昨年開業した内科 医院への通院患者の利用 も考慮し、北地区から南 地区へ、南地区から北地 区へ向かう運行ルート の検討とあわせ、現在の国 保病院利用者の「足の確 保」を優先に考えつつ、 連動して中心市街地へ 「ひと」を集める運行 ルートの見直しが必要で ある。 ※H26事業で見直し予定	自己評価のとおり、適 切に事業が実施されて いる。 特に、運行経費の削減 については評価出来 る。 今後は、町が予定す る、内科医院の開業と いう利用者が減少して いる要因の究明による 利用者ニーズに即した 運行ルート等の設定に 加えて、商工関係者等 と連携した病院以外の ニーズの掘り起こしや 新規路線の住民への周 知を徹底することによ り、バス利用の促進が 図られ、目標を達成し た持続可能な事業とな ることを期待する。	
			② 本別町 太陽の丘循環バス北 回り	町立病院～本別道の 駅～町立病院					
			③ 本別町 太陽の丘循環バス直 行便	町立病院～活性化セ ンター					
			④ 本別町 太陽の丘循環バス近 道便	町立病院～本別道の 駅～町立病院					

本別町地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

概要

本別町は、人口約8千人の過疎地域であり、高齢者の通院等の住民生活に不可欠な公共交通は、旧ふるさと銀河線から転換された民間路線バス及び町営バス等により維持しているが、少子高齢化・人口減に伴う利用者の減少や生活行動パターンに沿った利便性の確保等が課題となっている。

本事業では、国保病院の移転に伴い、市街地区と国保病院を結ぶバスとして、平成12年4月より運行している太陽の丘循環バスについて、通院のみならず、買物等の生活利便性を図るコミュニティバスとしての機能を向上させ、町民が安心して暮らせる交通環境を確保し、また、運行方法等の工夫により将来にわたり持続可能な公共交通サービスを行うことを目指し、地域における公共交通の維持確保に努めるものである。

地域公共交通の現況

- ・十勝バス(株)(地域間1路線)
- ・本別浦幌生活維持路線(地域間1路線)
- ・町営バス(太陽の丘循環バス4路線、へき地患者輸送バス5路線、町有バス6路線)
- ・スクールバス(7路線)

本別町地域公共交通会議開催状況

○平成24年7月20日

(主な協議事項)

- ・地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価結果と太陽の丘循環バス利用者数等の状況等について
- ・地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について
- ・太陽の丘循環バスの今後のダイヤ・ルートの見直しの方向性について

本別町生活交通ネットワーク計画の目標

- 通院時の利便性を確保しながら、生活面の利便性の向上を図るように運行計画を見直し、コミュニティバスとしての機能を向上させるとともに、将来にわたって町民が安心できる暮らしを支える公共交通を確保する。
- 広報活動の充実を図り、着実な利用の定着化とともに、町民が安心して誰もが利用しやすい環境の整備に努め、利用者増を目指した取り組みを行う。

平成25年度事業概要

太陽の丘循環バス

- 南回り 町立病院～南地区～本別道の駅～町立病院
- 北回り 町立病院～北地区～本別道の駅～町立病院
- 直行便 町立病院～活性化センター
- 近道便 町立病院～活性化センター～本別道の駅～(利用者に応じて)南北地区～町立病院

